

目次

| | |
|----------------------|---|
| 最新情報..... | 1 |
| 新機能..... | 1 |
| V1.10の追加..... | 1 |
| V1.01の追加..... | 2 |
| メンテナンス項目..... | 2 |
| V1.13の修正..... | 2 |
| V1.12の修正..... | 2 |
| V1.10の修正..... | 2 |
| V1.01の修正..... | 3 |
| 既知の不具合..... | 3 |
| ファームウェアバージョンの確認..... | 4 |
| ファームウェアアップデート手順..... | 4 |

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp>) にてご確認ください。

新機能

V1.10の追加

- Web Server Based Control機能の追加
トランスポートキーのコマンドと、一部の設定をLAN (Ethernet) で接続されたパソコンからブラウザで行えるようにしました。

注意

- 現時点で利用できるブラウザはInternet Explorer 7, 8と、Firefox 3.5.6以降、またはSafariのみです。
- ネットワークの設定は本機能では変更できません。
- ネットワーク経由でSNTPサーバーを使って内蔵時計を合わせられるようにしました。

注意

- インターネットへの接続が必要です。
- インターネットから本機を直接見られるようにした場合、特にTelnetにパスワードがないため、外部から攻撃を受けるなどの危険性があります。
- また、夏時間 (Daylight Saving Time) は北米のみの対応です。
- On/Offの切り換え後は再起動が必要です。
- USBメモリーからの再生機能を追加。

注意

- USBメモリーへの録音は、サポート外となります。
“Media Speed Check” で “Ok” となっている場合でも、書き込みの遅延が発生し録音が止まる場合があります。
- USBハブの使用は、サポート外です。
- USBメモリーは、FAT32 (2GB以下はFAT16) でフォーマットされている必要があります。
- シリアルコントロールのLOGINを削除しました。
- USB対応およびSNTPクライアント機能の追加によりmenu treeを一部追加変更しました。

- シリアルコントロールのコマンドを追加しました。

● Track nameコマンド：

トラック名を指定することができます。本コマンドは停止中のみ有効です。

ロードされているメディアにあるトラックのみに有効で、トラック名はメディア名なしのフルパスで指定する必要があります。“Playback mode” が “Folder” または “Single” の場合には現在設定されているフォルダにあるトラックのみ有効です。この場合でもフルパスで指定する必要があります。

例) track name=AUDIO01¥TRACK001.WAV

QueryでCurrent Track名を表示します。(Track Name?)

● delete trackコマンド：

指定したトラックを削除します。確認のために再入力が必要です。(60秒以内)

例) delete track=USB:Track01.wavまたは
delete track=CF:audio¥Track023.mp3

● mediaコマンド：

メディアを切り換えます。(停止時のみ有効)

例) media=usb または media=cf

Queryで現在のメディア名を表示します。(media?)

● format mediaコマンド：

指定したメディアを再フォーマットします。確認のために再入力が必要です。(60秒以内)

例) format media=CFまたはformat media=USB

● locationコマンド：

現在のトラックの再生を開始する時間を指定することができます。

例) location=1:00:00.00

V1.01の追加

- HD-P2のCFメディアを再生できるようにしました。LCDディスプレイ上に“H”と表示されます。
- ディレクトプレイで存在しないトラックを選択したとき、停止状態になるようにしました。(RC-SS20対応)

メンテナンス項目

V1.13の修正

- Media Fullでパラレルポートから出力されるBusy出力(Normally OpenまたはNormally Closed)の極性が反対になっていた不具合を修正しました。
- Auditionなど一部のアプリで生成したWAVファイルを再生すると、L/Rが反転する不具合を修正しました。
- LANのポート設定でポート80を設定した場合にコマンドを発行しないで通信を終了すると、LAN転送速度の低下や、停止してしまう不具合を修正しました。

V1.12の修正

- MP3の長時間リピート再生で再生時刻が進む不具合を修正しました。

V1.10の修正

- LANを“Static”で使用しているFTPで複数のトラックを送信したときに、設定したIPアドレスが自動的に変更されてしまう不具合を修正しました。
- 1秒未満のトラックで“Auto Cue”が誤動作する不具合を修正しました。
- 内蔵時計が大きくずれる不具合を修正しました。
- 録音待機状態でも録音されるファイル名が表示されるようにしました。
- メーターのピークホールドが正常に動かないことがある不具合を修正しました。
- シリアルコマンドが送信されている状態でHD-R1を起動しようとするとフリーズする不具合を修正しました。
- シリアルコントロールの以下の不具合を修正しました。
 - 録音中に間違ったトラック番号を返す
 - Playlist Nameコマンドが動作しない
- 起動時に内蔵時計が数秒遅れる不具合を修正しました。
- MP3録音時に残量表示が大きく異なることがある不具合を修正しました。
- 録音残り時間が99:59:59.99を超えても分以下が動いていた不具合を修正しました。
- “Auto Cue”を“-24dBFS”に設定して、“Ducking”のThreshold値を“-18dBFS”または“-12dBFS”に設定した場合、“Ducking”の起動でノイズを発生する場合がある不具合を修正しました。

V1.01の修正

- CFカードのトラック名を更新した場合に、CFカード上のトラック名のリストを自動的にソートし直すようにしました。
- シャトルを時間に設定したとき、分の値が動作する不具合を修正しました。
- フォルダーのトラック数が1023に達したとき、メッセージを表示するようにしました。
- 異なったサンプリングレートのトラックをSKIPキーなどで移動したときに残時間表示が前のトラックのサンプリングレートで表示される不具合を修正しました。
- “Media full” メッセージを表示した後に、S/PDIF信号が受信できない不具合を修正しました。
- Network設定でENTERキーを押しても設定が変更されない不具合を修正しました。
- FTPでアップロードしたトラックがずれて再生される不具合を修正しました。
- “Playlist” のDelayが動作しない不具合を修正しました。
- シリアル制御のタイムアウト時間をなくしました。Telnet制御は900秒でタイムアウトします。
- 50MByte以上のデータをFTPで転送したときに、本体が停止してしまう不具合を修正しました。
- シングルモードで再生したときに、再生後そのトラックの始めの音を再生してしまう不具合を修正しました。
- “Ref Level” を変更してもR出力が変化しない不具合を修正しました。
- 録音待機状態でカレントトラックのサンプリングレートに本体が変更されるようにしました。
- ショートカットのCURRENT+SKIPキーでトップディレクトリーに移動できるようにしました。
- FTPの通信スピードを高速化しました。
- 録音処理を高速化することで、Sync録音中にプリレコードを“ON” することで発生していた書込み処理を軽減しました。
- Windows Media PlayerのWAVを再生できるようにしました。

既知の不具合

- 8文字超えのトラック名を作成すると、フォルダーの1000以上のトラックが作成できません。1023までトラックをフォルダー内に録音する場合は、全てのトラック名を8文字以下にしてください。
- 製品取扱説明書において、“Manage Play/Rec Settings” メニューの “New Settings File” 項目以下の各項目は、機体の設定内容の保存を行う説明になっていますが、“Using Factory Defaults” 項目のみはシステム設定を初期化する機能です。
- 複数のスロットを持ったUSBカードリーダーの場合でも、HD-R1で扱えるのは一つのスロットのみです。
- Windows標準ドライバー以外のドライバーを必要とするUSBカードリーダーは使用できません。
- シームレスでトラックを再生する場合は、PlaybackモードをPlaylistにして録音を行ってください。自動的にPlaylistが生成され、シームレス再生が可能になります。
- “Auto Cue” が “On” の場合、“Shuttle Mode” を “Track/Mark Only” にしてSHUTTLE/DATAホイールでトラックを変えた際には “Auto Cue” は効きません。その場合はREADYキーを押すことで、“Auto Cue” 動作を行います。（既に “READY” が点灯しているときはSTOPキーを押して “READY” を消灯させた後、もう一度READYキーを押してください。）

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのHD-R1のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. MENUキーを押して、メインメニューを表示します。
3. SHUTTLE/DATAホイールを回して“Utilities”を選択（反転表示）し、ENTERキーを押します。

ファームウェアアップデート手順

1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp>) より最新のファームウェアをパソコンにダウンロードします。
2. CFカードを用意します。
3. パソコンのCFカードスロットに、HD-R1でフォーマットしたCFカードを入れます。パソコンに標準のCFカードスロットが無い場合は、外付けのカードリーダーなどをお使いください。
4. ダウンロードしたファームウェアファイルをCFカードのルートフォルダへコピーします。
5. 本体の電源がオフの状態、CFカードスロットにCFカードをセットします。
6. 本体の電源を入れます。ルートフォルダにアップデート用ファームウェアファイルがあると、自動でインストール画面が表示されます。



```
Current Version          1.01
Software Update Version  1.10d18
Install Update Now      ▶
```

注意

この画面が表示されない場合は、MENUキーを押して表示されるメインメニューでSHUTTLE/DATAホイールを回して“Utilities”を選択（反転表示）しENTERキーを押します。SHUTTLE/DATAホイールを回して“Software Update”を選択してENTERキーを押してください。上記の画面が表示されます。

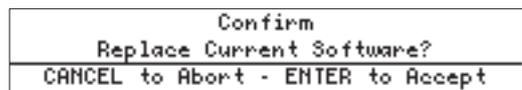
アップデートファイルがない場合には、“No Update on Media”と表示されます。

メモ

- この画面には現在のバージョンが上に、本機のルートフォルダ内にあるファームウェアアップデート用のファイルのバージョンが下に表示されます。
- 画面は一例で、実際の表示とは異なります。

4. SHUTTLE/DATAホイールを回して“Software Update”を選択（反転表示）し、ENTERキーを押します。
ここで表示される“Current Version”を確認してください。
ここで表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

7. ENTERキーを押してください。以下の画面が表示されます。



```
Confirm
Replace Current Software?
CANCEL to Abort - ENTER to Accept
```

8. ENTERキーを押すとアップデートを開始します。

注意

アップデート中は、電源を切ったりCFカードを抜いたりしないでください。

9. アップデートが終了すると画面に“Update Complete. Please Restart”と表示されますので、一度電源を切り、30秒ほど置いてから再度電源を入れてください。

10. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“Current Version”が最新のファームウェアのバージョンとなっていることを確認してください。

以上で本機のアップデート作業は終了です。

メモ

CFカードにコピーしたファームウェアアップデート用ファイルはインストールが済むと自動で削除されます。

FTPを使ったファイルコピーについて

FTP機能を使って、HD-R1のルートフォルダにアップデート用ファームウェアファイルを転送することでもファームウェアアップデートを行うことは可能ですが、ファイルを転送しただけでは自動でインストール画面は表示されません。この場合には電源を入れなおすか、手順6.の注意に記載されている方法でインストール画面を表示させてください。